

北海道教育研究所連盟第16次共同研究（平成29年～31年度）概要

## これからの時代の教員に求められる資質・能力の向上に係る支援の在り方

ねらい

各教育研究所・研修センターが学校支援のために活用する研修コンテンツ等を収集・提供するとともに、各教育研究所・研修センターが実施する北海道の地域性等に対応した教員研修の充実を図ることにより、これからの時代の教員に求められる資質・能力の向上に資する。

### 教員研修の充実に向けた教育研究所・研修センターによる学校への支援

研究内容1 コンテンツによる支援	研究内容2 ICTの活用による支援 ～ビデオ通話ソフトウェアによる遠隔研修～
<p>(1) 新たな教育課題に対応する研修コンテンツの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学び、外国語教育、道徳教育、校種間連携などについての研修コンテンツの作成・提供</li> </ul> <p>〔研究方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 学校の実態に応じた研修コンテンツの作成【A】</li> <li>イ 研修コンテンツを活用した研修事例の収集【B】</li> <li>ウ 研修コンテンツを活用した研修事例の共有【C】</li> </ul> <p>(2) 授業改善を促す資料の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導案、映像資料 など</li> </ul> <p>〔研究方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 校内研修に活用できる映像資料等の作成・提供【D】</li> <li>イ 映像資料等の活用事例の収集【E】</li> <li>ウ 映像資料等の活用事例の共有【F】</li> </ul> <p>(3) 校内研修の活性化を図る手法、実践事例の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ型研修、メンター研修、ミニ研修 など</li> </ul> <p>〔研究方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 域内の学校におけるワークショップ型研修の活性化に向けたファシリテーション（支援）の在り方【G】</li> <li>イ 若手教員の育成を目指したメンター研修等の事例の収集【H】</li> <li>ウ 若手教員の育成を目指したメンター研修等の事例の共有【I】</li> </ul>	<p>(1) 遠距離にある学校、小規模校、若手教員が多い学校等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所員や他校の教員による遠隔講義・助言 など</li> </ul> <p>〔研究方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 所員等による、ビデオ通話ソフトウェアを活用した遠隔講義・助言等の試行実践【J】</li> <li>イ 試行実践の内容及び手法の共有【K】</li> </ul> <p>(2) 学校間の学び合いの場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の小規模校による合同の研究協議</li> <li>離れた学校に在籍する、同じ担当教科の教員による授業参観・協議 など</li> </ul> <p>〔研究方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア ビデオ通話ソフトウェアを活用した研究協議等の実践【L】</li> <li>イ 実践内容及び手法の共有【M】</li> </ul>

### 第16次共同研究推進計画

	研究内容1	研究内容2	研究発表大会	
平成29年度 <1年次> <b>作成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の実態に応じた研修コンテンツの作成【A】</li> <li>ミニ道研の資料等を基にした活用しやすい研修コンテンツの作成</li> <li>校内研修に活用できる映像資料の作成【D】</li> <li>所員による映像資料の作成</li> <li>メンター研修等の実践事例の収集【H】</li> <li>若手教員の育成を目指した短時間で行う研修実践の事例の収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ通話ソフトウェアの活用の試行【J、K】</li> <li>所員によるビデオ通話ソフトウェアの活用方法の検討</li> </ul>	<p>&lt;1年次～3年次&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏季所員研修会における所員の力量向上及び域内の学校におけるワークショップ型研修のファシリテーション（支援）の在り方【G】</li> </ul>	<p>日高大会 平成29年 8月31日 9月1日</p>
平成30年度 <2年次> <b>実施</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修コンテンツを活用した研修の実施、事例の収集【B】</li> <li>「学級経営」「道徳科の授業づくり」に関わる研修コンテンツの実践事例の収集・改善</li> <li>校内研修に活用できる映像資料等の活用促進、活用事例の収集【D、E】</li> <li>「学級経営」「道徳科の授業づくり」に関わるプレゼンテーションの映像の作成（スライド画面のみ）</li> <li>校内研修の成果物や板書の画像の収集</li> <li>メンター研修等の実践事例の収集【H】</li> <li>若手教員の育成を目指した短時間で行う研修実践の事例の収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修の試行【L】</li> <li>ビデオ通話ソフトウェアを活用した実践事例の収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web上で提供する内容の共同研究推進委員会における情報共有【J、K】</li> <li>研究発表大会における研究発表及び協議【G】</li> </ul>	<p>函館大会 平成30年 8月30日 31日</p>
平成31年度 <3年次> <b>普及・還元</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修コンテンツを活用した研修事例の普及・還元【C】</li> <li>校内研修に活用できる映像資料等の活用事例の普及・還元【F】</li> <li>メンター研修等の実践事例の普及・還元【I】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修事例の普及・還元【M】</li> </ul>		<p>空知大会</p>

# 平成29年度第72回北海道教育研究所連盟研究発表大会(日高大会) 兼第59回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会

平成29年8月31日、9月1日に浦河町総合文化会館を会場に、平成29年度第72回北海道教育研究所連盟研究発表大会(日高大会)兼第59回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会を開催し、全道各教育研究所・研修センターから75名の所員・研究員等が参加しました。本大会の全体発表では、第16次共同研究(1年次目)の研究内容、研究発表では部会ごとのテーマに沿った発表及び協議を行いました。

また、国立教育政策研究所初等中等教育研究部副部長・総括研究官 藤原文雄氏による「北海道の現状を踏まえた教員研修の在り方」について、記念講演を行いました。

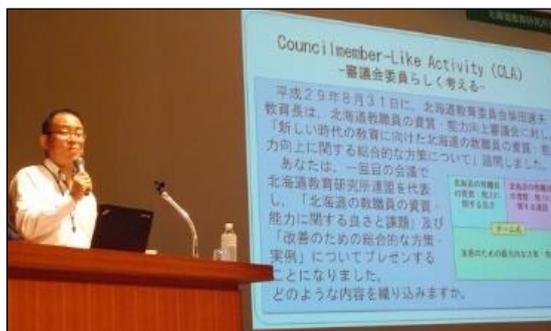
## ■ 記念講演

演 題 「北海道の現状を踏まえた教員研修の在り方」

講 師 国立教育政策研究所初等中等教育研究部副部長・総括研究官 藤原文雄氏

### 【概要】

- ・現在の教育政策上の主な課題は、学校教育においては、教育水準の維持・向上のため、新学習指導要領の円滑な実施に向けて取り組むことである。  
また、地域・社会においては、貧困家庭で困っている子どもを支援し、貧困の連鎖を止めることである。
- ・教育実践のやりがいは、教育専門家として、目の前の一人一人の子どもの幸せのために、カリキュラムを考え、地域との連携などの仕組みをつくり、実践することによって生まれる。
- ・国の政策の中心は、「次世代の学校・地域」創生プランにある4つの政策(学校の組織運営改革、教員改革、地域からの学校改革・地域創生、地域学校協働本部)と学校間連携であることを理解する必要がある。
- ・教育研究所・研修センターの所員の役割は、教育行政の世界と学校現場をつなぎ、教育行政を分かりやすく学校現場に伝える「翻訳者」「仲介者」、そして「大人を育てるプロ」になることである。
- ・北海道の教員の良さは、教育に対して熱心ということである。また、特徴として、地域と密着した取組を有効に活用していることが挙げられる。
- ・所員の方々は、日々の教育実践の他に北海道の動向や管内の状況を踏まえながら取組を行っており、教育研究所・研修センターが教員を幸せにできる機関であり続けていただきたい。



## ■ 研究発表（部会）

### 第1部会

#### 【研究発表1】

テーマA「言語活動の充実を意識した、思考力・判断力・表現力の育成を図る研究」  
網走地方教育研修センター 篠原 昌幸 主任研究員、村上 陽一 研究員

「思考・判断・表現を繰り返し、学びを深める子どもの育成～各教科・各領域における言語活動を意識した授業づくり～」

- ・「主体的に学びに向かう子ども」「他者と関わりながら自分の考えを広げたり、深めたりする子ども」を目指す子ども像とした。
- ・「言語意識(目的・相手・場面・方法・評価)を高めるための単元構成の工夫」「子どもの主体性を高めるための手立ての具体化」「他者との関わりを深めるための手立ての具体化」の研究を行っている。



#### 【研究発表2】

テーマB「主体的・対話的で深い学びを目指した、協同的な学習の充実を図る研究」

十勝教育研究所 ニノ宮 民子 主任所員

「進んで学習に取り組む力を育む研究～学びの価値を実感する協同的な学習の充実を通して～」

- ・子どもが学習を自分のこととして捉え、自分もっている力や身に付けた力を使って粘り強く取り組んだり、自分の考えを広げたり深めたり、学んだことや学び方を次の学習に生かしたりするというような、進んで学習に取り組む力を育むことが必要であると考えている。
- ・そのために「学びを意識付けるための指導」「学びを高め合うための指導」について研究を行っている。



### 第2部会

#### 【研究発表1】

テーマC「新たな教育課題（ICTを活用した授業づくり等）の解決を図る研究」

岩見沢市立教育研究所 渡邊 強 所長

「ICT（遠隔学習）を活用した教育の充実を図る研究所の取組～双方向、ミーティングシステムによる交流学習の充実を目指して～」

- ・岩見沢市の情報通信ネットワーク環境を生かした教育の充実を図ることを目的に、学校教育におけるマルチメディアを活用した遠隔学習を推進している。
- ・また、ミーティングシステム（Vcube）を活用した各学校の自主的な授業づくりを支援し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を重視した言語活動を大切にするとともに、ICT機器を活用した教育の研究を行っている。



#### 【研究発表2】

テーマD「社会に開かれた教育課程の実現のため、地域に応じた教材開発や授業改善を図る研究」

根室教育研究所 水口 拓真 所員

「地域素材の効果的な教材化～あなたにもできる！北方領土を使った学習」

- ・根室管内では、「北方領土学習」について、各校の特色を生かした実践や本研究所の研究などが進められてきたが、「授業の作り方が分からない」「教材、映像資料などがそろっていない」などの課題が明確になった。
- ・そこで、北方領土学習について多種多様な教材や資料の収集や開発・整理を行い、データ化を図ることで「いつでも、どこでも、誰でも」授業実践が可能になるであろうという仮説の基に研究を行っている。



# 所長研修会

平成29年4月21日（金）

会場：北海道立教育研究所

## ○ 【講演】「これからの学校・教員に期待すること～保護者の立場から」

（講師 北海道PTA連合会顧問 笹谷純代氏）

### 概要

- ・学校や先生方には、子供たちが社会で自立できるように社会生活におけるコミュニケーション力、自己肯定感、基本的な学力・教養を身に付けさせていただきたい。
- ・核家族化やネット社会等、現代社会の様々な状況の中、一人で苦しみながら子育てをしている母親がいるため、先生方には子育てのよき理解者として、保護者の相談にのっていただきたい。
- ・子供たちのために目をかけ、手をかけ、心をかけ、言葉をかけ、子供たちが憧れる大人の姿を学校・家庭・地域みんなで見せていきたい。



## ○ 【協議】「学校や教員への支援の在り方」「所員の力量向上に向けた取組の工夫」「各教育研究所・研修センターの特色ある取組」

### 概要

- ・若手教員が多いため、モデルとなる授業を知らないことに課題があるため、研究所として、授業づくりに視点をおき、モデルとなる授業を見ることが出来る取組を進めている。
- ・学校からの要望に応じて、テレビ会議システムと市独自の情報通信ネットワーク（ミーティングシステム）を活用し、双方向による遠隔学習の取組を進めている。
- ・各町村研究所と合同で所員研修会を行い、それぞれの町村研究所の抱える課題を共有したり、解決の具体的な方策を話し合ったりしている。

# 夏季所員研修会

平成29年7月27日（木）・28日（水）

会場：北海道立教育研究所

## ○ 【講演】「問題解決のための実践マネジメントについて」

（講師 株式会社インタフェース代表取締役 五十嵐仁氏）

### 概要

- ・問題解決の5つのステップ（①テーマ設定、②現状認識、③目標設定、④行動計画作成、⑤行動と振り返りを行うなど、常にPDCAサイクルを回して目標の達成を実現していくことが重要。
- ・解決志向のツール（手法）等を活用し、問題を抱えている人に対して質問をすることによって、問題解決を促していくことができる。

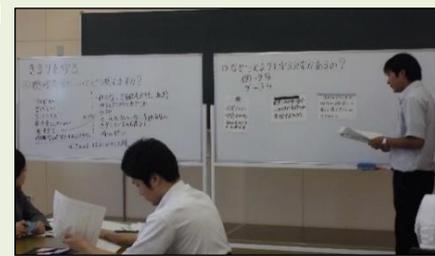


## ○ 【説明・演習】「ビデオ通話ソフトウェア（Skype）を活用した研修について」

## ○ 【講義】「国及び北海道の今日的な課題を踏まえた教育研究所・研修センターの在り方について」

## ○ 【説明・演習】「新学習指導要領の比較対照表を活用した研修について」

## ○ 【説明・演習】「道徳科の授業づくり」



道徳科の授業づくり（模擬授業）

### 【参加者からの御意見・御感想】

- ・「講演」を通して、問題解決の手法を具体的に理解することができた。
- ・ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修を通して、様々な活用の可能性を感じることができた。
- ・道徳科の授業づくりでは、グループでの指導案作成、模擬授業の参観を通して、授業づくりのポイントを理解することができた。

## 平成30年度事業計画

- |   |              |                                   |                  |
|---|--------------|-----------------------------------|------------------|
| 1 | 総会・所長研修会     | 平成30年4月20日（金）                     | 北海道立教育研究所        |
| 2 | 夏季所員研修会      | 平成30年8月1日（水）、2日（木）                | 北海道立教育研究所        |
| 3 | 研究発表大会（函館大会） | 平成30年8月30日（木）、31日（金）              | フォーポイントバイシエラトン函館 |
| 4 | 共同研究推進委員会    | 平成30年5月11日（金）、6月、11月、平成31年1月7日（月） |                  |
|   |              | ※下線は北海道立教育研究所で開催                  |                  |
| 5 | 委員会          | 平成31年2月8日（金）                      | 北海道立教育研究所        |

## 発行 北海道教育研究所連盟

事務局：〒069-0834

江別市文京台東町42番地 北海道立教育研究所内  
TEL 011-386-4513 / FAX 011-386-4988  
URL <http://www.dokenren.hokkaido-c.ed.jp/>  
E-mail [dokenren@hokkaido-c.ed.jp](mailto:dokenren@hokkaido-c.ed.jp)